

様式

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度第3回川越市協働事業審査委員会
開 催 日 時	令和3年5月26日(木) 午後2時開会・午後4時0分閉会
開 催 場 所	川越市役所 7A会議室
議 長 (会長) 氏 名	遠藤克弥委員長
出席者(委員) 氏名(人数)	遠藤克弥委員長 櫻井晶夫副委員長 新井正司委員 栃原綾子委員 野本吉憲委員 米原民子委員 柳内邦章委員 竹澤正人委員(8名)
欠席者(委員) 氏名(人数)	真下英二委員 藤井美登利委員(2名)
事 務 局 職 員 職 氏 名	地域づくり推進課 課長 小熊政彦 副主幹 熊谷真一 主査 坂本有司 主任 森裕美
傍 聴 者 人 数	なし
会 議 次 第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 (1) 令和4年度協働委託事業に係る実施団体の決定について (2) 令和4年度提案型協働事業補助金(通常審査分)の採択について (3) その他 4 閉会
配 布 資 料	別紙・・・次第 資料1・・・令和4年度協働委託事業の得点一覧 資料2・・・協働委託事業にかかる委員からの所見 資料3・・・令和4年度提案型協働事業補助金(通常審査分)の得点一覧 資料4・・・提案型協働事業にかかる委員からの所見

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	開 会 14時00分
	1 開 会
委員長	2 委員長あいさつ 会議の成立 市協働事業審査委員会条例第5条第2項
事務局	会議の傍聴⇒傍聴不可 理由：協働委託事業の実施団体の決定、提案型協働事業の団体決定及び各事業審査において自由活発な意見交換を確保するため
事務局	3-1 令和3年度協働委託事業に係る実施団体の決定について 集計結果、委員からの所見の説明 中間点240点を下回る事業なし 同一項目において2人以上の審査員が1点とした事業なし ⇒審査の対象外となる事業はなかった
委員	(1) かわごえエコツアー (所管課：環境政策課 団体：福原ファームクラブ) 参加した人の満足度が高い事業で普段行けない所にも行ける、気配りもできている。採択決定でよいと思う。
委員	こういった方法で川越を知ることにも必要だと感じた。満点ではないので、工夫しながらやってもらえれば問題ない。 <採択決定>

	<p>(2) 子育て情報誌作成 (所管課：こども政策課 団体：NPO 法人川越子育てネットワーク)</p>
委員長	<p>非常に評価の高い事業で、ぜひやっていただきたい。ただ、国際化とか新しい社会の変化に適した内容になるように、そういったところも見ながら検討して欲しい。</p>
委員	<p>採択には賛成だが、文字のポイント数が小さくて見づらい(特に市長との対談ページなど)。ページ数の関係で仕方ないと思うが、印刷会社と相談していただきたい。</p>
委員 委員	<p>→文字を大きくするとページが増えて費用がかかってしまう。 →そのあたりを会社と交渉して欲しい。1ポイントでも上げて欲しい。</p>
委員	<p>冊子の中と見るとQRコードがたくさんあってすごく便利だと思う。見たい情報がすぐに見られる。委員の所見で「WEB化が必要ではないか」と意見があったが、最初のページにWEB版が川越市のホームページで公開されていることが記載されており、既に対応できている。</p> <p><採択決定></p>
	<p>(3) イーブンライフ in 川越 (所管課：男女共同参画課 団体：川越市女性団体連絡協議会)</p>
委員	<p>男女共同参画に人権も入ってくる。LGBTのことなど、もう少し広く取り組んで欲しい。毎回内容が変わっていない。</p>
委員	<p>委員からの意見のフィードバックが担当課にっていない気がする。出来れば、審査委員と担当課で話し合いの場を持ちたい。そこでもう少し踏み込んだ討議をして改善していただきたい。今大事なのはLGBTの問題、男女よりも広がってきている。そういったことも話して内容に入れて、よりよい事業にして欲しい。</p>

委員	<p>マナー化の大元は担当課がどういう意識を持っているか。今までの参加者の大多数が高齢の女性。それでいいという意識が担当課や団体にもあったのではないか。対象が男性とか若い人になったとすれば当然やり方や講師が変わってくる。</p>
委員長	<p>今はかつての男女平等ではなくジェンダーの問題になっている。いくつかの女子大はトランスジェンダーを受け入れている。若者の間ではこのような話題が盛り上がっている、こういった内容だと若者も聞きに来る。</p>
委員	<p>こういうテーマで協働事業をやりますと言われても、市はどのような方向に持っていきたいのかがわからない。担当課として現状何が課題でどのような方向に持っていきたいのか考え方を教えて欲しい。いろんな方向で人権の問題とかLGBTの問題とかある。それをいっぺんにやろうとしても無理、どこにポイントを置いて担当課が考えているのか。それが見えると委託先も変わってくると思う。</p>
委員長	<p>今年は条件付きで決定し、来年考えてもらうということでのろしいか。</p>
委員	<p>→それでよい。</p>
委員	<p>自身の団体も女性団体連絡協議会に加わっているが、活動内容等については役員のみで決めている。団体にも図って意見を出せるようにして欲しい。一般市民にどれだけ伝わっているのか心配。</p>
委員 委員	<p>委託事業についても、この委員会で不採択にできるのか。 →過去に不採択にした例はある。</p>
委員	<p>審査委員の所見を担当課と団体がどれだけ理解してやってくれているのか。途中経過を知りたい。</p>

委員	→今年事業をやることは決定でいいと思う。今回の事業の実施は9月から12月となっている。その前に審査委員と討論できる機会や書面でやりとりできる機会をいただければよい。
委員長	→回答してもらおう方法がいいのかは別として、意見については事務局から伝えてもらう。「採択については条件がありました、うまくいくようにしてこの事業を実施してください。」ということではよいのではないかと。 <p style="text-align: center;">＜採択決定＞</p> <p style="text-align: center;">（４）こえど市民活動ネットワークプロジェクト （所管課：地域づくり推進課 団体：特定非営利活動法人アートバープズフォーラム）</p>
委員	何のためにネットワークを作るのかが、抜けている。いろいろな団体を集めてネットワークを作っても何の意味もない。先が見えない。
事務局	この先どうしたいのかがポイントだとは考えている。川越市の中で協働などを行っているところはたくさんある。その中でいかに知ってもらい、興味を持ってもらうことが重要だと考えている。
委員長	市役所ではいろいろな事業が行われていて、その中からいくつかを協働事業に持ってきている。その中でいいものを選ぶ。もう少し、意見を言える方針をつくれればよい。事務局が全部負担を負うのは大変。コロナだったのでなかなか変えられなかったが、コロナ後（協働事業が）このままの状態でもいいのかどうか、一度議論する場を設けたい。
委員	最初からオンラインでと決めているのもおかしい。今なら距離をとればオンラインでなくてもできる。
事務局	→with コロナを考えると必ずしもオンラインでない方法も考えている。

委員	<p>今回協働事業に関わる団体の中から（インタビュー等）撮るとあるが、継続している団体もいくつかある。昨年度と重複することはないのか。毎年同じものを残してももったいない、見る方もつまらない。</p>
事務局	<p>→インタビュー等の対象団体は変わっている。ミーティングのスポーツ団体は協働事業とは関わりのない団体で考えている。</p>
委員 事務局	<p>市民団体がどれくらいあるか把握しているのか。 →把握できていない。市民団体といっても非常に幅広く、どこまでを市民団体とするかといったこともある。どういう団体があるか、市にどういう事業があるか把握した上で変えていく必要があると考えている。</p>
委員長	<p>→いわゆる多様化の時代になっている。いろいろ考えながらやっていかないと、今まで通りではうまくいかない。 ＜採択決定＞</p>
事務局	<p>3-2 令和4年度提案型協働事業補助金（通常審査分）の採択について</p> <p>集計結果、委員からの所見の説明 中間点288点を下回る事業なし ⇒審査の対象外となる事業はなかった 早期審査採択事業を含めた8事業の補助金額は今年度の予算内の金額となっている</p> <p>(1) がくどう igo サポート&キャラバン事業 (団体：川越 igo まち倶楽部 所管課：教育財務課、地域教育支援課) ＜採択決定＞</p> <p>(2) 川越的場八景蟹ヶ淵再生事業 (団体：川越的場八景蟹ヶ淵再生する会 所管課：河川課) ＜採択決定＞</p>

委員	<p>(3) コミュニティラジオでアクティブ防災 (団体：株式会社小江戸FM 所管課：防災危機管理室)</p> <p>地震だけを想定しているような印象を受ける。最近水害も多い、川越でも内水氾濫が起きたことも。この会社は川越市と防災協定も結んでいるので通年を通して少しずつ楽しく防災について聞けるようにしてほしい。地震と水害は分けて考える必要がある、そのあたりも考慮してやってほしい。</p>
委員	<p>実際に水害や地震が起きた際にはどのようなことをしているのか。それは今回の市民に防災意識をつけるための事業とは関係ないのか。</p>
事務局	<p>災害時の対応とは別と考えている。(「災害時緊急放送に関する協定」ラジオ放送による防災情報の提供(令和3年5月17日締結))</p>
委員	<p>川越市の細かい防災情報もラジオで流してほしい。 <採択決定></p>
委員	<p>(4) 川越市民オペラ「喜歌劇こうもり」コンサート事業 (団体：川越音楽文化振興会川越市民舞台芸術プロジェクト 所管課：文化芸術振興課)</p> <p>こうした芸術的なもの、SDGsに関わるようなものは少しずつでもやっていくべき。</p>
委員	<p><採択決定></p>
委員	<p>(5) 夜の公園たんけん—川越の生き物発見事業 (団体：川越次世代SDGs研究会 所管課：中央公民館、環境政策課)</p> <p>SDGsはいろんな方向からアプローチできる。これからもっと参加者が増えていくのではないか。</p>

委員	<p>住民参加型でいろいろやれるようになってほしい。</p> <p><採択決定></p>
委員	<p>(6) 新宿町五丁目 地域デジタル化</p> <p>(団体：新宿町五丁目自治会 所管課：地域づくり推進課)</p> <p>デジタル化は必要。回覧、市の掲示板に掲載するポスター等が多すぎる。自治会は本当は地域の人と連携しながらいろんな事業をやるもの。コロナ禍の今、機器をもっているいない関係なくデジタル化できるものはしていく。ただ見守りの関係もあるので、回覧はなくてはならない。自治会は人と人があつての組織、事業採択には賛成だが全てをデジタル化にはできないと考える。</p>
委員長	<p>デジタル化は便利になるいいものだが、様々な問題を教えてもらえるような体制づくりが必要。どのように活用するのがよいか検討が必要。</p>
委員	<p>デジタル化は良いと思うが、デジタル化をやりつつ従来の紙の方法もやると二重の手間にならないか。</p>
委員	<p>→やり方によって手間にはならない。</p>
委員	<p>→デジタル化によって少しでも楽になる方法があればいい。</p>
委員	<p>→やり方については自治会の中で議論することが大切。</p>
委員	<p>この事業については担当課のアドバイスも必要だと考える。</p> <p><採択決定></p>
事務局	<p>3-3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の視察について <p>コロナ禍の状況を鑑みて委員による現場の視察に関しては行わないこととする。参加を希望する事業については個別に相談していただければ対応する。</p>

副委員長	<ul style="list-style-type: none">・今年度、今後の審査委員会の予定 第4回 令和5年1月19日(木) ・任期満了に伴う委員の退任挨拶 <p>5 閉 会</p> <p>副委員長あいさつ</p> <p>閉会 16時00分</p>
------	---